

参 考 手 本

願與達人游

※これは規定課題ではありません。

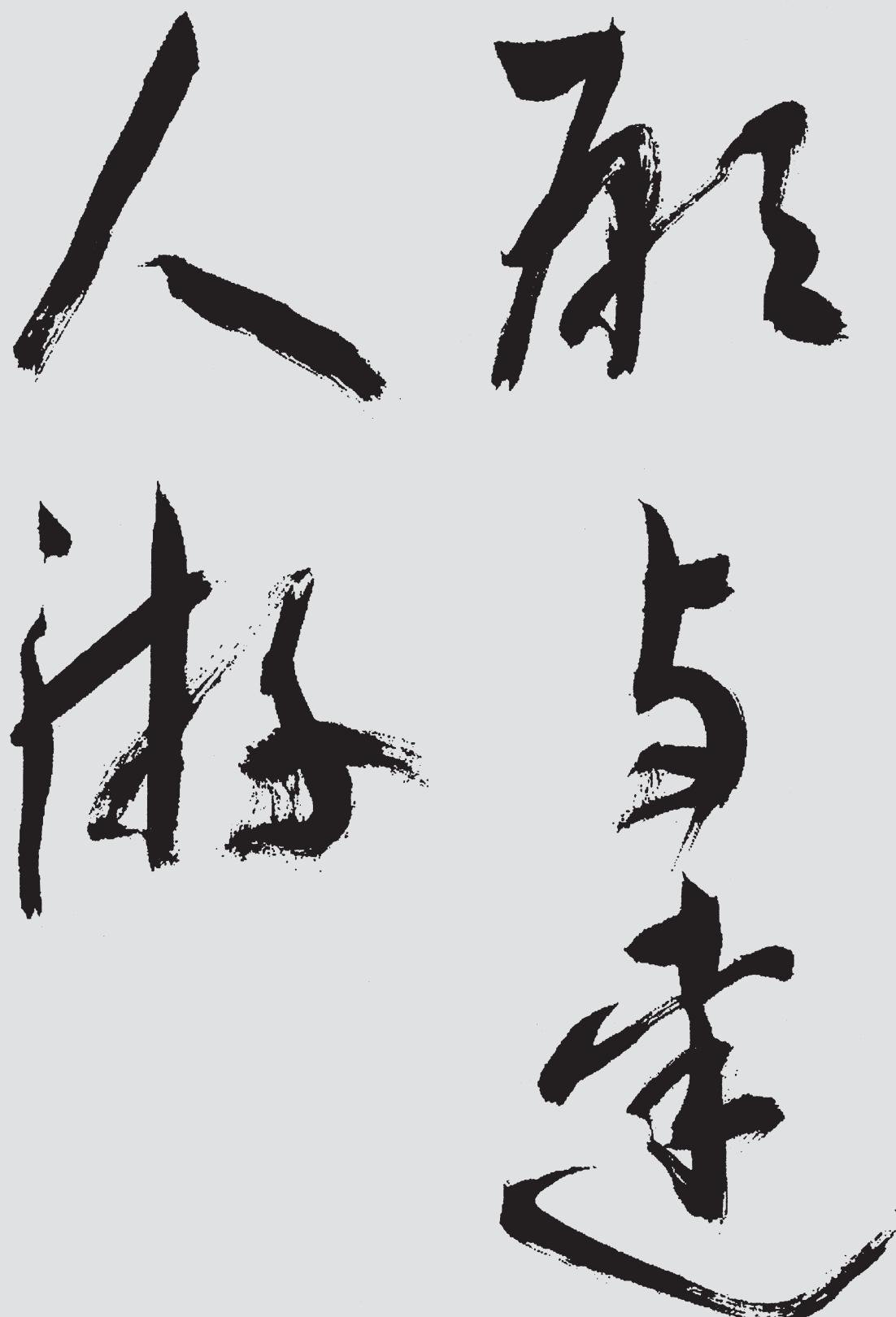


高木聖雨先生

参考手本

頤與達人游

※これは規定課題ではありません。



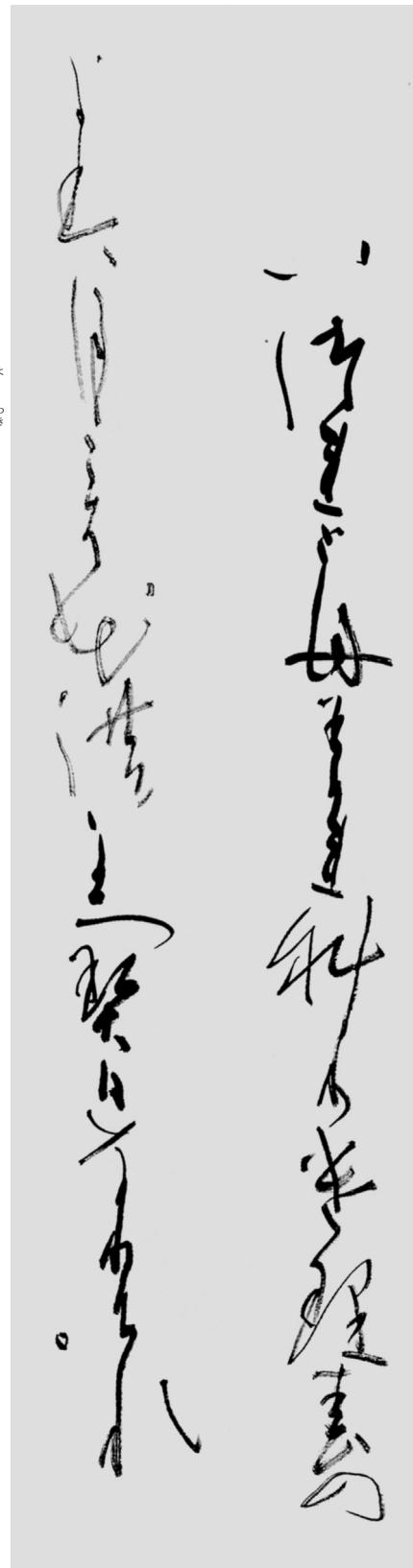
高木聖雨先生

条幅かな

条幅規定

C部（二段以下）

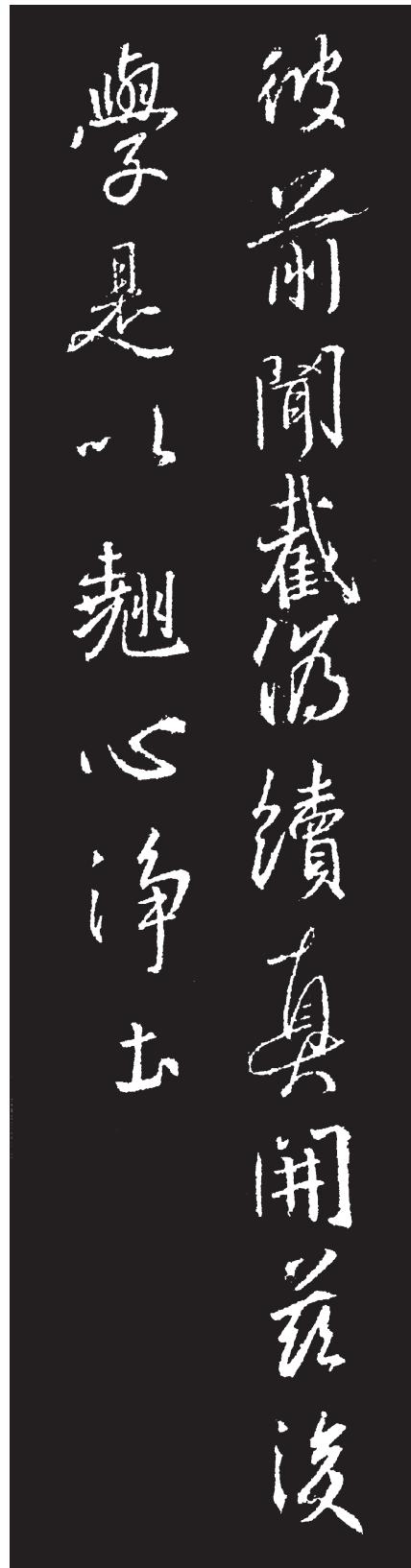
A部（準五段以上）
B部（四段～準三段）



集字聖教序（東晉・王羲之）

彼前聞截僞續真開茲後學是以翹心淨土

浮 乘 清 鄉 先 生



道因法師碑（唐・歐陽 通）

暢譬連環而靡絕耆季粹德曠士通儒粉滯稽



条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

（3月10日締切）

半紙規定(一)

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

曹全碑（漢・作者不詳）



貪暴心を洗い、
同僚・

暴洗心同僚

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]

(3月10日締切)

半紙規定(二)

清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書

〔二級以下〕楷書

合樹參差たり、仰ぎ視れば

九成宮醴泉銘（唐・歐陽詢）

樹參差仰視

仰
樹
視
參
差

〔この課題を同月の半紙隨意には出品出来ません〕

(3月10日締切)

条幅参考手本

主幹菅野翠濤

今日花前飲甘心醉數杯但愁
花有語不為老人開 乙未春日翠濤

今日花前飲 甘心醉數杯 但愁花有語 不為老人開

今日花前の飲、甘心數杯に酔ふ、但だ愁ふ花語有り、老人の為ために開かずと。

江川玉堂先生

江北望江南 祇隔江津水 日暮寒潮生 愁心滿揚子
江北より江南を望めば 祇だ江津の水を隔つ 日暮寒潮生じ 愁心揚子に満つ

江北望江南 祇隔江津水 日暮寒潮生 愁心滿揚子

江北より江南を望めば 祇だ江津の水を隔つ 日暮寒潮生じ 愁心揚子に満つ

条幅参考本

降り積みし高嶺のみ雪解けにけり清滝川の水の白波

けり清滝川の水の白波
西行つうじ
棠苑かく

降り積みし高嶺のみ雪解けに

鼓棹路崎曲 指景限西隅 江山豈不險 歸子念前途
棹を鼓すれば路は崎曲し、景を指せば西隅に限らる。江山 豈に險しからざらんや、帰子 前途を念う。

船久保 棠苑先生

鼓棹路崎曲指景限西隅江山豈不險歸子念前途
豈

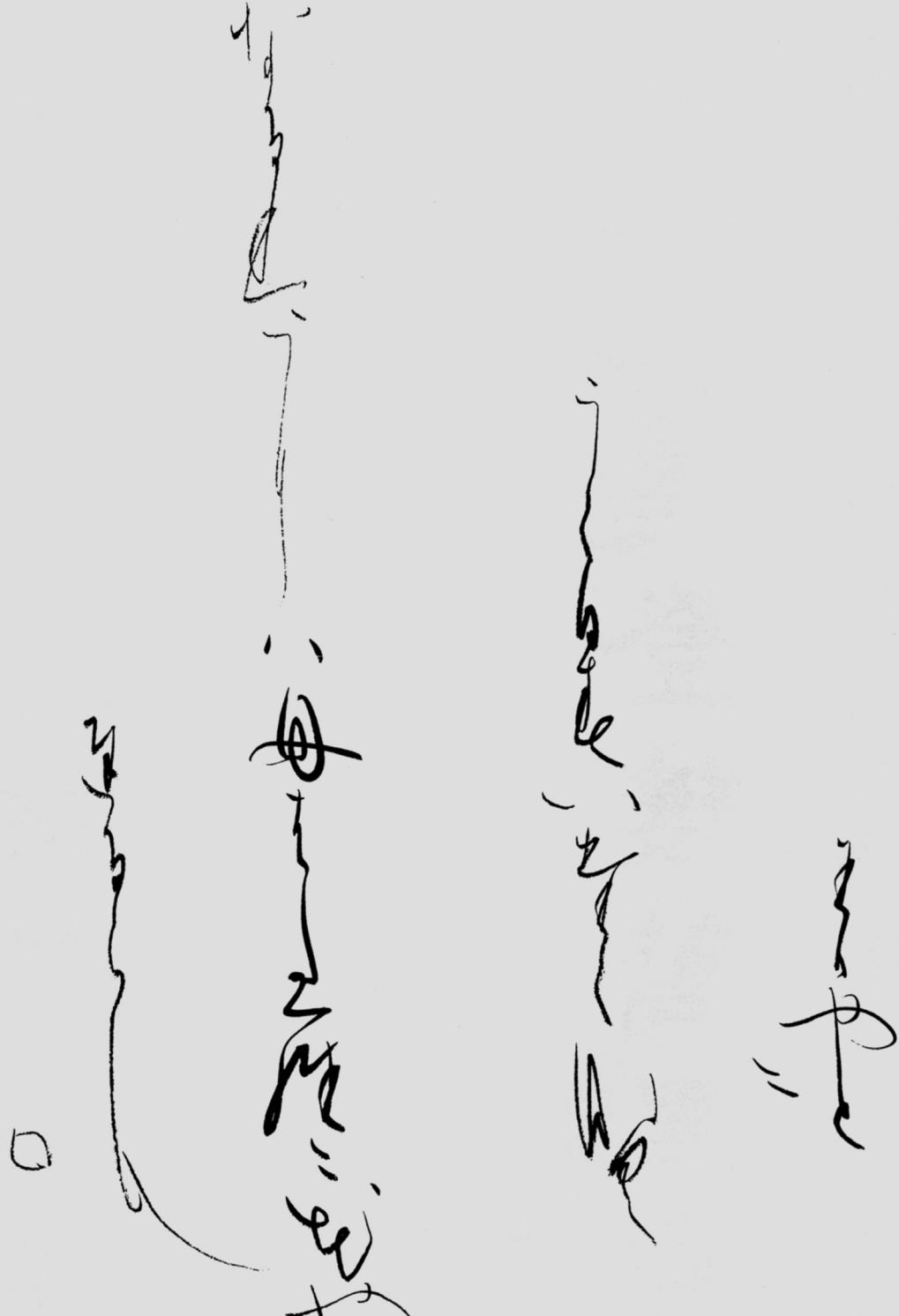
長沢 豊雲先生

半紙かな(初段以上)

わ
可
宿
二
う
日
春
い
堂
那
具
盤
耳
母
者
多
羅
二
花
や
散
ら
ん
(春宮大夫公実)

支部名 段 姓 号 (鉛筆可)

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由。



浮 乘 清 郷 先 生

(3月10日締切)

半紙かな(1級～8級)

見かへれば
寒し日暮れの山ざくら（小西来山）

支部名 級 姓 号
(鉛筆可)

*支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
*ちらし文字変換は自由。

若月久美子先生

七

の

レ

口

(3月10日締切)

実用文（準三段以上）

〈書風任意〉

……趣の嚴冬が……寒さのうちに立春が……。

春を迎えるにはやはり凜冽と
う、趣の厳冬が續いた方ざ
感、——が立ち寒さのうちに立春が
過ぎ梅の蕾がほころび次第に
花の競演の日が訪ねる。

支部

あ

姓
号

山田翠臯先生

(3月10日締切)

実用文（二段以下）

久保田 悠山先生

梅見月とか初花月とか申しますが

先月の大雪には驚愕と言つ言葉が
當る程の驚きでした御宅様には
被害はございませんでしたか

支部名 段級 姓名

細字

高須翠雲書「五體昭和千字文」より

P12

支部

段級

姓

号

遊遊遊蝶歸雁來燕蝌蚪
蝶蝶蝶歸雁來燕蝌蚪
蝶蝶蝶歸雁來燕蝌蚪
蝶蝶蝶歸雁來燕蝌蚪
蝶蝶蝶歸雁來燕蝌蚪
蝶蝶蝶歸雁來燕蝌蚪
蝶蝶蝶歸雁來燕蝌蚪
蝶蝶蝶歸雁來燕蝌蚪
蝶蝶蝶歸雁來燕蝌蚪

※一級～八級は草書まで。初段以上は隸書まで。

蝌か
蚪と
おたまじやくし。

名前は必ず楷書

17 cm (ヨコ) × 24 cm (たて)

硬筆（初段以上）

本院定型用紙一枚に書く

…青きは未だ空に響かない。

支那の
あ
はう

雪は降りつつある。然し春は来りつつ
ある。寒さは強くある。然し寒さはま
つた。風はまだ吹きはある。土はまだ
堅く凍る。青きはまだ墨と飾らない
い。清水はまだやに清かれない。

青 柳 江 雲 先 生

(3月10日締切)

硬筆（4級以下）

支部名

級

姓
号

節分の豆まきは、冬の寒氣や疫病の
象徴の「鬼」を追い払う行事です。

本院定型用紙・たて半分に書く

硬筆（1級～3級）

支部名

級

姓
号

節分の豆まきは、冬の寒氣や疫病の
象徴の「鬼」を追い払う行事です。

齋藤翡翠流先生

齋藤翡翠流先生

（3月10日締切）

中2用

支部名

段級

名

前

の波日本山海

渡邊南嶂先生

中3用

支部名

段級

名

前

神守密由の

小6用

支部名

段級

名前

足春の音前

渡邊南嶂先生

中1用

支部名

段級

名前

冬残りの雪

— 18 —

渡邊南嶂先生

(3月10日締切)

小4用



大越三宗先生

小5用



— 19 —

大越三宗先生

(3月10日締切)

小2用

文部名

段級

名前

Large brushstroke characters '前' (Forename) and '名' (Name) written in a bold, expressive style.

鈴木翡翠先生

小3用

文部名

段級

名前

Large brushstroke characters '前' (Forename) and '名' (Name) written in a bold, expressive style.

鈴木翡翠先生

(3月10日締切)

中 1

三寒四温の頃、一雨ごとに春めいて来る。

中 2

人は経験をし、挑戦し、進歩する。

中 3

時に応じ、正しく判断し行動する姿勢を養う。

中 1～中 3

青 柳 江 雲 先 生

小1・幼年用

支部名

段級

名 前

小1・幼年

がつていきます。おおぞらに、たこがあ

小 2

かえるや、へびは、ま
だ土の中には、ま

小 3

春に入つてもまだ風は
ひんやりとつめたい。

小 4

木には、野にも山にも
木のめが出てくる。

小 5

寒くとも、まどを開け
空気を入れかえよう。

小 6

勉強は、自分からやろ
うとする意志が大切。

小1～小3

齊 藤 翡 流

先生

小4～小6

鈴 木 蕙 翠

先生

(3月10日締切)

小学部小筆課題

支部名

段級

名前

雪どけ
春近し

主幹 菅野翠濤

中学部かな課題

支部名

段級

名前

雪の深さもたづね
かくねふかさもたづね

読み=いくたびも雪の深さをたづね
季語=「雪」病床の作者が何度も雪への関心を示す。自分で見ることのできぬその姿があわれ深く出ている。淡々とした表現の中に深い情味のあふれている句。

(3月10日締切)